

令和元年度 大野小学校学習・学力状況調査の結果について

4月18日に実施された6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。この調査は、学力の一部を調査したものであり、学校、児童の学力のすべてを示すものではありません。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1 結果の概要 (1) 平均正答率と内訳

国語	平均正答率(%)	算数	平均正答率(%)
大野小学校	73.0	大野小学校	65.0
北斗市	73.0	北斗市	69.0
北海道	63.0	北海道	64.0
全国	63.8	全国	66.6

	国語(話すこと・聞くこと)	国語(書くこと)	国語(読むこと)	国語(伝統的な言語文化と特質)	算数(数と計算)	算数(量と測定)	算数(図形)	算数(数量関係)
北斗市立大野小学校	79.6	59.9	89.5	66.3	59.5	54.3	72.2	68.3
北海道	71.0	52.7	81.2	52.9	60.6	50.2	76.0	65.7
全国	72.3	54.5	81.7	53.5	63.2	52.9	76.7	68.3

昨年度まで各教科基礎的な能力を見るA問題と、応用・活用能力を見るB問題とに分かれていましたが、今年度からA・Bを合わせた問題となり、一つの大きな設問に基礎的な問題と応用的な問題が設定される形となりました。

国語は全国平均を9.2ポイント上回りましたが、算数は1.6ポイント下回りました。

【国語】(○：成果 △：課題)

○どの領域においても全国平均を上回りました。特に「読むこと」や「伝統的な言語文化と特質」の領域においては大幅に上回る結果となりました。

△選択式や短答式の問題についての正答率が高い反面、記述式については下がるのが現状です。

《課題への取組》主語、述語の関係に注意した、読み手にわかる文章にするために、字数制限やキーワードをもとにした文章作成の活動を授業に取り入れています。

【算数】(○：成果 △：課題)

○「量と測定」の領域で全国平均を上回りました。また、国語とは反対に考え方や解き方を分けて説明する記述式の解答が良い結果となりました。

△たし算やかけ算の混ざった計算の間違いが多く見られました。また、計算しやすい式に変える問題についても課題が残りました。

《課題への取組》

基本的な四則計算の習得に力を入れています。また、何を問われているかを的確にとらえることや数量の感覚に磨きをかける活動を取り入れています。

(2) 児童質問紙より特徴的な結果から

	自分にはよいところがあると思う	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	学校に行くのは楽しいと思う	先生は、間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思う	人が困っているときは、進んで助けようとする	人の役に立つ人間になりたいと思う	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	★将来の夢や目標を持っている	★ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある	★難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	★学校のきまりを守っている	★外国の人と友達になったり外国のことを知ったりしたい	★今住んでいる地域の行事に参加している
大野小学校 (はい)	37.0	94.4	66.7	72.2	42.6	85.2	25.9	66.7	75.9	31.5	37.0	25.9	22.2
大野小学校 (どちらかといえばはい)	50.0	5.6	24.1	20.4	50.0	11.1	22.2	13.0	18.5	40.7	53.7	22.2	25.9
合計	87.0	100	90.8	92.4	92.6	96.3	48.1	79.7	94.4	71.5	90.7	48.1	48.1
北海道	78.9	97.1	83.5	90.9	86.3	94.7	49.6	82.0	94.6	76.3	91.4	65.9	62.2
全国	81.2	97.1	85.8	91.7	87.9	95.2	54.5	83.8	95.2	79.0	92.3	68.6	68.0

「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」と、自己肯定感の高さが伺えます。また、「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「学校に行くのは楽しいと思う」「先生はわかるまで教えてくれる」という回答も、高い数値となりました。学校に安心して登下校していると思います。さらに、「人が困っている時は進んで助けている」で思いやりにあふれる子どもたちだということもわかります。

一方、「将来の夢や目標を持っている」と回答する子は全国平均に比べると、低い数値になりました。将来をしっかりと見据えた、「キャリア教育」を実践していきます。

また、「最後までやり遂げてうれしかった」や「失敗を恐れなくて挑戦する」という項目でも、達成感や挑戦する力に課題があることがわかりました。成功の見通しが持てないと言い換えることができますので、学習や生活で、結果をある程度予想させてから取り組ませるといった活動に励みます。

地域行事への参加についても、学校から積極的に参加への声をかけ、視野を広げ経験を積むことができるようにしていきます。最後に、将来の社会のグローバル化を見据え、外国人とのコミュニケーション力は必須となることから、外国語学習を中心としながらも、学校や地域の行事に外国人の参加を呼びかけたり、遠隔授業を取り入れ、様々な人と触れ合ったりする取り組みを計画してきます。

御家庭でも、規則正しい生活を基盤にしながら、学習習慣を身に付け、子どもたちにとって明るい未来を思い描けるように、ご支援・ご協力をお願いします。